

2026年12月期 第1四半期
決算説明資料

第二の創業、始動。ソラナを中核に企業価値を高める。

2026年5月15日（金）

株式会社WIZE（証券コード:3664）

課題をゼロに、価値を頂点へ



WIZE

01 新生WIZE宣言

旧来型エンタメ企業から、ソラナ運用を中核とする企業価値向上モデルへ

Message from CEO

創業以来、私たちは時代の変化を新たな可能性と捉え、人々に感動を届ける価値づくりに挑戦してまいりました。

メディアや技術が移り変わる中であっても、人の心を動かす価値を創り、届けるという原点は変わりません。

2026年4月1日、当社は「株式会社WIZE」へと商号を変更しました。これは単なる名称変更ではなく、私たちにとっての「第二の創業」です。新商号には、時代の風と革新の力により、社会課題の解決と企業価値の向上を両立させ、持続可能な循環を創るという意味を込めています。

これから私たちは、エンターテインメントを“感動を届けるもの”としてだけでなく、“社会に前向きな変化を生むもの”として捉え直します。

その実現に向けて、ソラナの保有・運用をWIZEエコシステムを支える資本・収益・インフラ基盤として位置づけ、エンターテインメント、アプリ/コンテンツ、SIAPと連動させていきます。

今後は、J-GAAP指標である売上高・営業利益に加え、調整後EBITA、ソラナ運用収益、営業CF等の管理KPIも用いながら、WIZEの実質的な収益力と企業価値向上の進捗を継続的に開示していきます。

代表取締役CEO
藪考樹

01

第二の創業

社名変更を契機に、WIZEとして新たな成長モデルへ転換します。

02

ソラナを基盤とするエコシステム

ソラナの保有・運用を通じて、資本価値・運用収益・インフラ機能を強化します。

03

企業価値の見方を再定義

J-GAAP指標に加え、調整後EBITA、ソラナ運用収益、営業CF等で進捗を示します。

2 WIZEの定義 | 社会課題解決と企業価値向上の両立へ

時代の変化を捉え、社会課題の解決と企業価値の向上を両立させる当社の新たな価値創造モデルを、新社名「WIZE」と企業ロゴに込めています。

W

Wind & Will

時代の風を読み、変化を推進力に変える意思を示します。

I

Innovation & Integration

ソラナとエンターテインメントを統合し、新たな価値を創出します。

Z

Zero & Zenith

社会課題の解決（マイナス）をゼロに、企業価値・利益を頂点へ。

E

Ecosystem

ソラナ、エンタメ、アプリ／コンテンツ、SIAPを連動させ、持続的な成長循環を構築します。

**WIZE**

WIZEロゴは、WとZの融合により、時代の風を捉える意思と、社会課題の解決・企業価値向上の両立を表現しています。
3つの円は、企業・顧客・社会がともに豊かになる「三方よし」の価値循環を示し、斜めに貫く軌跡は、「課題をゼロに、価値を頂点へ」高めていくWIZEの成長の方向性を表しています。

02

評価軸の再定義

J-GAAPだけでは見えにくい、WIZEの実質収益力

WIZEは、J-GAAP上の売上高・営業利益に加え、調整後EBITA・ソラナ運用収益・営業CF等の管理KPIを用いて、実質的な収益力と企業価値向上の進捗を継続的に開示していきます。

調整後EBITA (※1)

△ **77.1**百万円

ソラナ運用収益

4.6百万円

営業CF

△ **41**百万円

WIZE Treasury Core

23,811 SOL

※当社が直接保有するSOL

WIZE Treasury

171,625 SOL

※WIZEバリデータが運用するSOLの総量 (外部からの委任を含む)

ソラナ評価損益

△ **114.8**百万円

調整後EBITA (※1) の定義

調整後EBITAは、営業利益に減価償却費・無形資産償却費およびソラナ運用収益を加味した、当社独自の管理指標です。J-GAAP上の営業利益を補完し、ソラナを基盤とする事業構造への転換に伴う実質的な収益力を把握することを目的としています。

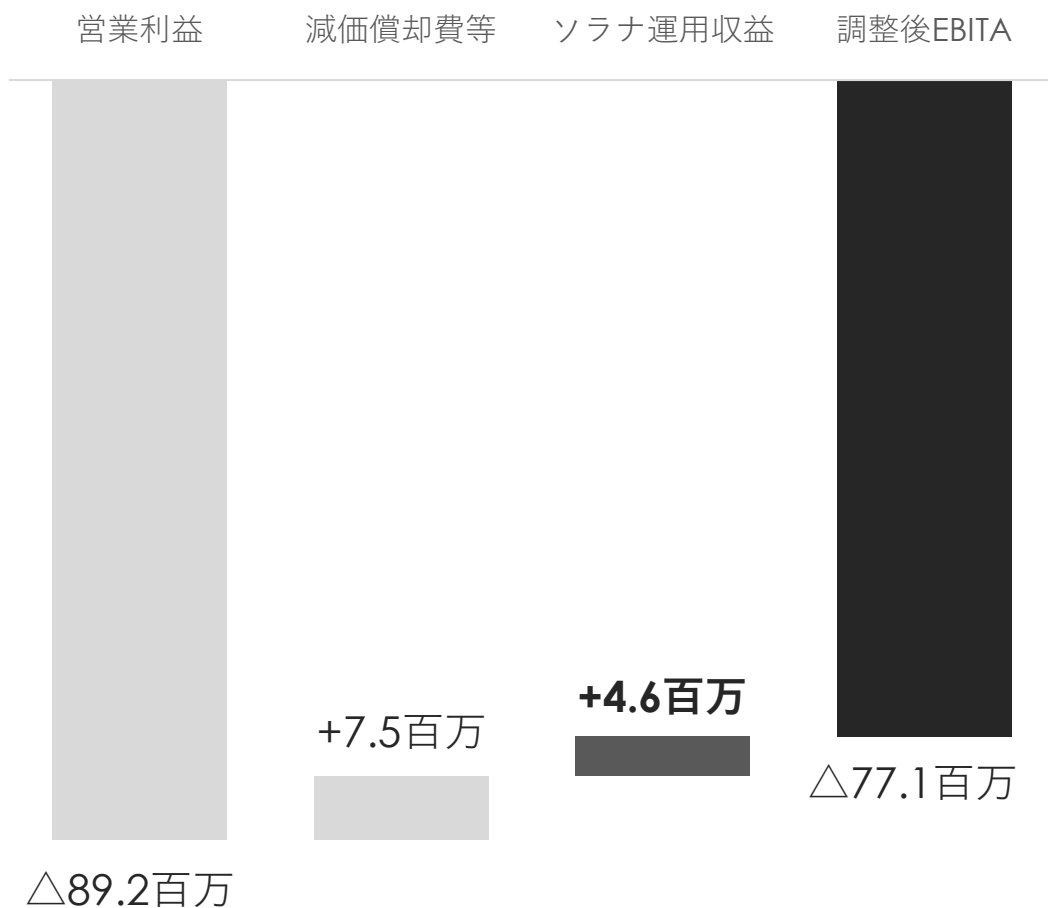
調整後EBITA = 営業利益 + 減価償却費・無形資産償却費 + ソラナ運用収益

※ ソラナ運用収益には、ステーキング報酬およびバリデータ報酬を含みます。

※ 暗号資産評価損益は、価格変動影響を明確に区分するため、調整後EBITAには含めておりません。

※ 営業CFは現金創出力を示す指標であり、調整後EBITAは収益力を補足的に示す管理指標です。

ソラナ関連損益は、継続的に発生する運用収益と、ソラナ価格変動による評価損益に区分して管理します。調整後EBITAではソラナ運用収益を加味し、暗号資産評価損益は価格変動影響として別管理としています。



1 ソラナ運用収益は継続収益

ステーキング報酬・バリデータ報酬は、ソラナ保有量・運用量の拡大に応じて積み上がるインカム収益です。

2 評価損益は価格変動影響

暗号資産評価損益は、ソラナ価格変動による会計上の損益であり、調整後EBITAには含めず別管理としています。

3 営業利益を補完する管理KPI

調整後EBITAは、J-GAAP上の営業利益を補完し、ソラナを基盤とする事業構造の実質的な収益力を把握するための管理KPIです。

※減価償却費等には、減価償却費および無形資産償却費を含みます。

03 2026年12月期 第1四半期実績

既存事業の実績と、構造転換前の会計数値

5 1Q財務ハイライト | J-GAAP指標

主力の「ゆとりの空間」は営業黒字。WIZE社単体における人件費・関連費用の削減により連結営業損益は11百万円改善した一方、暗号資産評価損の計上により、経常損益以下は前年同期を下回る。

| (単位：百万円) | 2026年12月期 (1Q) | 2025年12月期 (1Q) | | |
|---------------------|-------------------|-------------------|--------------|----------------------|
| | 実績 | 実績 | 差異 | 主な要因 |
| 売上高 | 689 | 718 | △ 28 | ・主力の「ゆとりの空間」が売上を下支え |
| 売上総利益 | 407 | 421 | △ 14 | ・売上減少に連動 |
| 営業利益 | △ 89 | △100 | 11 | ・WIZE社単体の固定費等削減により改善 |
| 経常利益 | △ 206 | △96 | △ 110 | ・暗号資産評価損114.8百万円を計上 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | △ 205 | △101 | △ 104 | ・経常利益減少に連動 |

04

ソラナ・トレジャリーを中心とした新戦略

「1株あたりの資産価値の最大化」

ソラナの資産価値が高まった局面では、機動的な売却により利益を顕在化させ、それを原資として、株主還元の実施を最優先に目指します。

約5億円の取得により第1フェーズを完了。2026年3月定時株主総会で承認された3.38億株の発行可能株式総数を資本政策上の選択肢として活かし、世界Top10を視野にソラナ・トレジャリーの本格拡大を目指します。

第1フェーズ完了

約5億円の取得を実行・検証

- ① 現在、世界Top15 (※1) に到達
- ② ステーキング報酬による年間収益3,000万円強 (※2) を見込む
- ③ ソラナ財団からの承認をへて、バリデータを本格始動

第2フェーズへ

世界Top10を視野に本格拡大フェーズ。
定時株主総会で発行可能株式総数3.38億株まで拡大を承認。

- ① 2026年5月15日付で、第三者割当による第39回新株予約権の発行を適時開示
- ② 国内最大級のソラナバリデータ運用を担うDawn Labs代表 南雲悠太郎氏をChief Solana Officerとして招聘。今後もSolana領域の専門人材・外部パートナー体制を順次拡充

※1 CoinGecko「Solana Treasury Holdings」におけるランキング。外部サイト掲載情報に基づく参考値であり、掲載内容・順位は変動する可能性があります。

※2 これまでの取得状況に基づいて加重平均残高ベースで試算した結果となる運用利回り「年利約6%」をもとに計算。

ソラナ保有量の拡大により、ステーキング報酬・バリデータ報酬・価格上昇時の利益顕在化を通じて、営業CF改善・財務基盤強化・株主価値向上を目指します。

01 運用収益

ステーキング報酬により、保有ソラナから継続的な収益機会を創出します。

02 インフラ収益

WIZE Validatorとして第三者委任により、Solanaネットワーク参加による報酬機会を拡大します。

03 資産価値

価格上昇局面では利益を顕在化し、財務基盤と株主価値向上への活用を目指します。

※ステーキング報酬およびバリデータ報酬は、ネットワーク状況、委任量、運用条件、ソラナ価格、為替レート等により変動します。
※価格上昇、利益顕在化、株主還元等の実施を保証するものではありません。

ソラナ価格について、主要金融メディアで報じられた外部の中長期価格見通しを、ソラナ・トレジャリー戦略を検討するうえでの外部参考シナリオの一つとして整理します。

ソラナ価格ポテンシャル推移



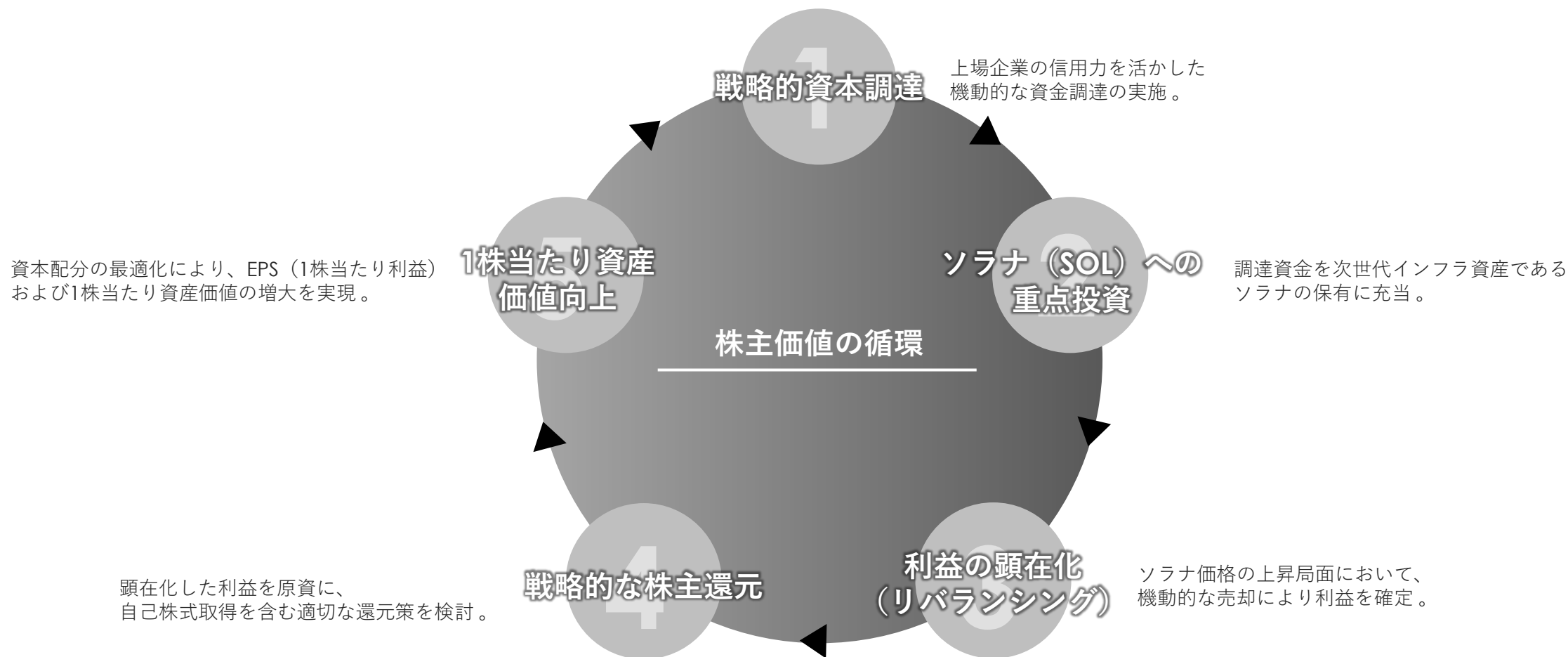
- Standard CharteredのGlobal Head of Digital Assets ResearchであるGeoffrey Kendrick氏によるソラナ価格見通しとして、主要金融メディアで報じられた情報を参照しています。
- 当社のソラナ価格予想・業績予想・利益予想を示すものではありません。
- 出所、採用理由および留意事項の詳細はAppendix (P24) をご参照ください。

※本ページは、主要金融メディアで報じられた外部価格見通しを参考情報として整理したものであり、当社によるSOL価格、業績、利益、評価額、含み損益、株主還元等の予想または保証を示すものではありません。

①株主価値の循環 ②事業・社会価値の循環 を両輪で回す

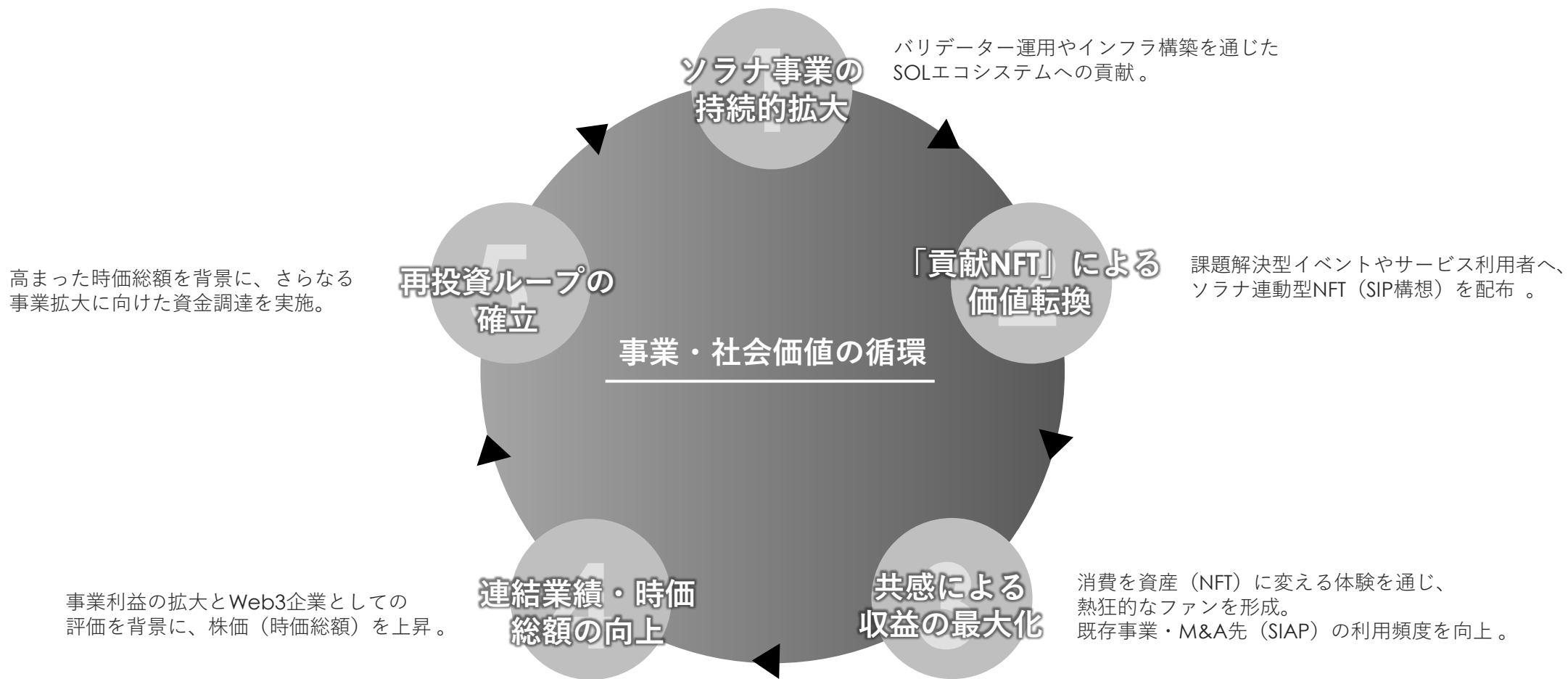
WIZEは、ソラナを戦略的資産基盤として位置づけ、
資本配分を通じた株主価値向上と、
Web3実装による実業成長の2つの循環を連動させることで、
持続的な企業価値向上を目指します。

希薄化を克服し、1株当たり価値を最大化する。



※現時点において、自己株式取得に関する具体的な決定事項はありません。実施を決定した場合には、法令および取引所規則に従い、速やかに開示します。

消費を資産に変え、共感による成長を加速させる。



※SIP（ソーシャル・インパクト・パスポート）構想...ファンの社会貢献行動をSolana上のNFT等で可視化し、企業成長と社会的価値創出の両立につなげることを目指すもの。
 ※SIAP（ソーシャル・インパクト・アクセラレーション・プログラム）...社会課題の解決と企業成長の両立を目指す企業との共創型パートナーシップを通じて、事業シナジーの創出とグループ全体の企業価値向上を目指すM&A戦略。

既存のマイノリティ投資は回収フェーズへ移行し、投資回収資金は原則としてSolana Treasury強化へ充当。
今後の投資事業は、SIAPとしてマジョリティ投資へ転換します。

01

これまで：マイノリティ投資

- IP・事業への少数持分投資を実施
- 投資先の価値向上を支援
- 戦略的パートナーへの譲渡等による投資リターンを志向

02

現在：回収フェーズ

- 既存投資先の価値化・回収を優先
- 個別案件ごとに譲渡・事業連携等を検討
- 投資回収資金を、次の成長原資として位置づけ

03

回収資金： WIZE Treasury Core強化へ

- 投資回収資金は、原則としてソラナ購入資金へ充当
- WIZE Treasury Coreの拡大を通じて、保有・運用基盤を強化
- 「資産価値循環」を支える戦略資産基盤の拡充を目指す

04

今後： SIAP型マジョリティ投資

- 連結化を視野に入れたマジョリティ投資を重視
- 社会課題解決と経済性を両立する企業との共創を推進
- 「WIZE Dual-Loop 戦略」に接続する事業基盤の拡大を目指す

05

リスク管理

ボラティリティを前提に、攻めと守りを両立する

GC注記の解消に向け、営業CFを中心KPIとして管理し、既存事業収益性・調整後EBITAの改善とソラナ運用収益の積み上げにより現金創出力を高めるとともに、投資回収と財務流動性管理により財務基盤の安定化に取り組みます。

01

既存事業収益性・調整後EBITA改善

- ・ 既存事業の収益性改善
- ・ 不採算事業の整理
- ・ 販管費削減の継続
- ・ 調整後EBITAによる実質収益力の把握

02

ソラナ運用収益の積み上げ

- ・ WIZE Treasury Core
- ・ WIZE Treasury
- ・ ステージング・バリデータ報酬
- ・ 価格変動益とは区分して管理

営業CF改善 GC注記解消に向けた中心KPI

継続的な事業運営を支える現金創出力として、営業CFの改善を重点管理します。

財務流動性・資本政策余力

- ・ 手元流動性の確保
- ・ 資金調達余力の管理
- ・ 発行可能株式総数のコントロール
- ・ 上場維持基準への対応

投資回収の進捗

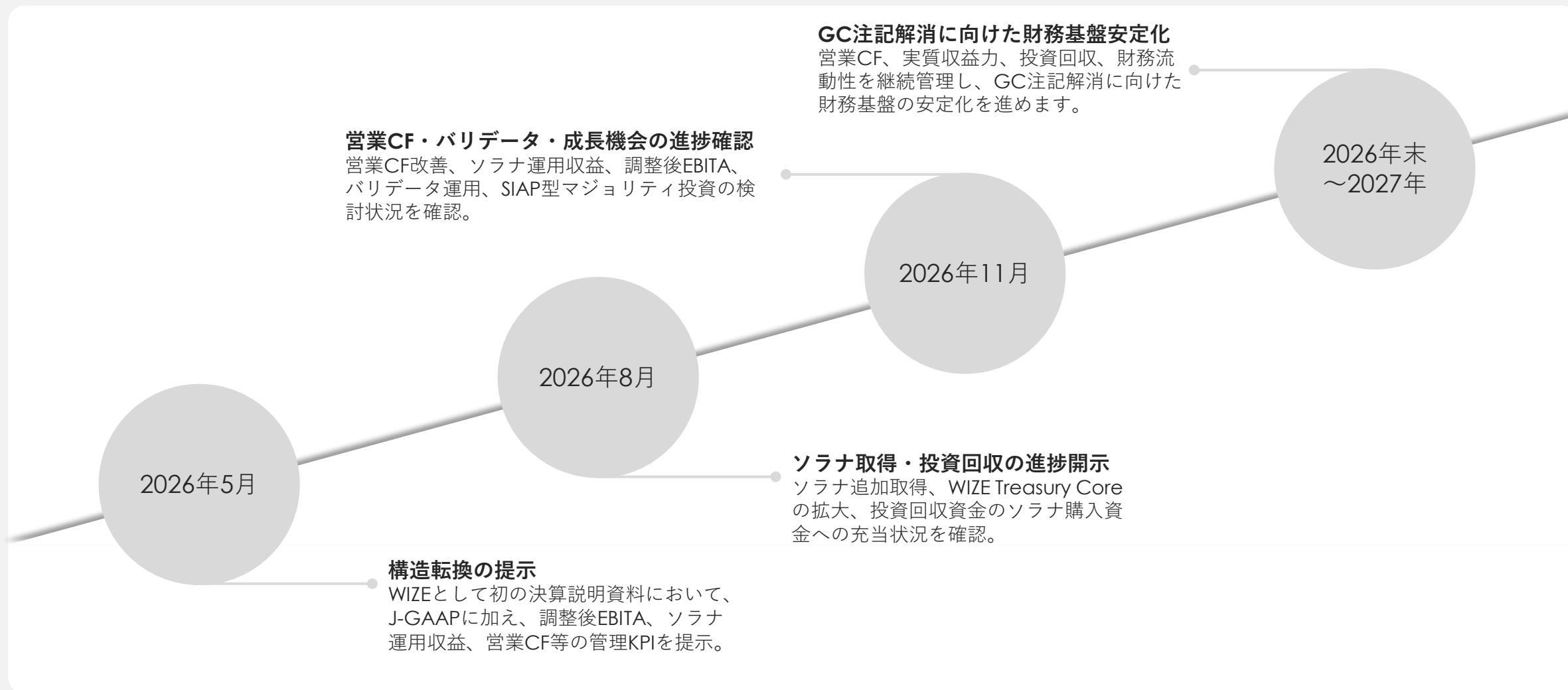
- ・ 既存マイノリティ投資の回収
- ・ 投資回収資金のソラナ購入資金への充当
- ・ 回収時期・金額の管理
- ・ 財務基盤の補完

04

03

単一施策ではなく、営業CFの改善を中心に、実質収益力・投資回収・財務流動性を継続的に改善することでGC注記の解消の実現を目指します。

2026年は、ソラナ保有・運用を中核に、投資回収、営業CF改善、バリデータ高度化、SIAP型成長機会を段階的に進め、WIZEの企業価値向上モデルを継続的に可視化します。



06 Appendix

WIZE Treasury Core

2026年4月10日時点

累計取得金額：5億円
約24,597 SOL

保有開始から6ヶ月でステーキング報酬も
累計400 SOL超に到達

● Staking Yield | 運用収益機会

- ステーキング報酬は、保有開始から約6か月で累計400 SOL超まで積み上げ。保有SOLの拡大に伴い、月次報酬も拡大。（当社試算に基づくステーキング利回り：約6%）



● 2026年3月期末（2026年3月31日）実績

2026年3月はソラナ市場価格が軟調に推移し、対象期末（2026年3月31日）時点の市場価格が取得原価を下回ったため、時価評価により評価損を計上。期末（2026年3月31日）時点の保有状況および損益は以下のとおり。

| | 保有枚数 ^{※1} | 購入額 | 時価評価額 ^{※1 ※2} | 損益 ^{※3} | ステーキング報酬 ^{※3} |
|-----|---------------------|--------------|----------------------------|------------------|------------------------|
| SOL | 23,811.13897775 SOL | 497,060,176円 | 305,473,101円 | △114,805,883円 | 4,622,255円 |

※1 ステーキング報酬分を含む
 ※2 時価は、2026年3月31日の終値(2026年3月31日24:00時点)を基に算出しております。
 ※3 2026年12月期第一四半期の損益計算書に営業外損益として計上されます。
 ※ WIZE Treasury Coreは、当社が直接保有するSOLを指します。

01 | 出所

本資料で参照するSOL価格シナリオは、Standard CharteredのGlobal Head of Digital Assets ResearchであるGeoffrey Kendrick氏によるSOL価格見通しとして、CoinDesk、The Block、Yahoo Finance等の主要金融メディアで報じられた情報を参考にしています。

本価格見通しでは、SOL価格ターゲットとして、2026年末250ドル、2027年末400ドル、2028年末700ドル、2029年末1,200ドル、2030年末2,000ドルが示されています。なお、本情報はStandard Charteredによる公式リリースではなく、主要金融メディアによる報道をもとにした参考情報です。

- CoinDesk (2026/2/3): Standard Chartered cuts 2026 SOL target to \$250, maintains \$2,000 by 2030 — <https://www.coindesk.com/markets/2026/02/03/this-analyst-expects-solana-to-reach-usd2-000-by-2030-despite-cutting-his-2026-target>
- The Block: Standard Chartered cuts Solana 2026 target — <https://www.theblock.co/post/388248/standard-chartered-cuts-solana-2026-target-shift-memecoins-micropayments>
- Yahoo Finance: Standard Chartered Cuts 2026 Target, Sees \$2,000 by 2030 — <https://finance.yahoo.com/news/solana-price-prediction-standard-chartered-095657113.html>

02 | 採用理由

当社は、SOLを継続的に調査対象としている主要な調査機関・金融機関等について、公開情報に基づき比較検討を行いました。その結果、短期である2026年末と長期である2030年末の双方について明示的な価格ターゲットが報じられており、かつ2026年2月時点の比較的新しい外部見通しである点を踏まえ、本価格見通しを外部参考シナリオの一つとして採用することが妥当と判断しました。

03 | 発信主体・担当者

Standard Charteredは、英国ロンドンに本社を置く国際的な商業銀行であり、ロンドン証券取引所に上場するFTSE100構成銘柄です。また、Financial Stability Boardが公表するGlobal Systemically Important Banksにも掲載されている、グローバルに重要な金融機関の一つとされています。今回参照する価格見通しは、同社のGlobal Head of Digital Assets ResearchであるGeoffrey Kendrick氏による見解として、主要金融メディアで報じられたものです。

04 | 留意事項

本シナリオは、当社のSOL価格予想、業績見通し、利益予想、または経営計画上の前提を示すものではありません。また、当社は当該予測値の実現可能性、正確性または確実性について、独自に検証または保証するものではありません。SOLを含む暗号資産には、価格変動、規制、技術、流動性、サイバーセキュリティ等の固有リスクがあり、本シナリオは実現しない可能性があります。

(単位：千円)

| | 2025年 | | | | 2026年 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q |
| 売上高 | 717,608 | 719,739 | 632,192 | 738,593 | 689,407 |
| 売上原価 | 297,108 | 282,986 | 259,527 | 285,212 | 282,791 |
| 売上総利益 | 420,500 | 436,752 | 372,665 | 453,381 | 406,615 |
| 販管費 | 520,330 | 501,670 | 471,264 | 517,853 | 495,808 |
| 営業損失 | ▲ 99,829 | ▲64,918 | ▲98,599 | ▲64,471 | ▲89,192 |
| 経常損失 | ▲ 96,067 | ▲71,617 | ▲103,136 | ▲162,077 | ▲205,988 |
| 四半期純損失(※) | ▲ 101,058 | ▲84,501 | ▲97,053 | ▲244,047 | ▲205,056 |
| 総資産 | 2,384,061 | 2,313,990 | 2,221,926 | 3,238,327 | 2,952,209 |
| 純資産 | 533,938 | 550,868 | 447,842 | 1,412,436 | 1,204,589 |

(※) 四半期純損失は親会社株主に帰属する四半期純損失数値です

株式の状況

| | |
|--|-------------|
| 発行済株式数 * 1 | 84,638,307株 |
| 大株主の状況 * 2 | |
| 楽天証券株式会社 | 5.80% |
| 藪 考樹 | 5.43% |
| 株式会社ファミリーショップワタヤ | 4.96% |
| 五十畑 輝夫 | 2.01% |
| BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD | 1.58% |
| 山下 博 | 1.42% |
| 武上 康介 | 1.34% |
| 日本証券金融株式会社 | 1.26% |
| 官生 真史 | 1.00% |
| 株式会社 S B I 証券 | 0.99% |

株価関連指標

| | |
|-----------|-------------|
| 株価① * 3 | 33円 |
| 時価総額① * 3 | 2,793,064千円 |
| 総資産 * 2 | 2,952,209千円 |
| 純資産 * 2 | 1,204,589千円 |
| PBR * 2 | 2.48倍 |
| PER | — |

* 1 : 2026年 3月末日時点のものです。自己株式101株を除く

* 2 : 2026年 3月末日時点

* 3 : 2026年 5月14日時点



| | |
|--------|---|
| 社名 | 株式会社WIZE (WIZE INC.) |
| 本社所在地 | 東京都渋谷区東一丁目26番30号 |
| 代表者 | 藪 考樹 |
| 設立年月日 | 2004年3月26日 |
| 資本金 | 944,641千円 (2025年12月末日時点) |
| 連結従業員数 | 95名 (2025年12月末日時点) |
| 事業概要 | 暗号資産事業、ソーシャル・エンターテインメント&メディア事業 (IP投資育成、ライフスタイルIP及びデジタルIP) |